

# みずほ銀行台湾拠点のご案内

2026年5月

みずほ銀行

台北支店・台中支店・高雄支店・台湾営業部

MIZUHO

# 〈みずほ〉の強み

## アジアと日本を代表するグローバル・コアバンクへ

〈みずほ〉は、日本最古の銀行をルーツに、日本有数の規模・影響力を持つメガバンクグループ

〈みずほ〉は、成長が続くアジアを中心に、米州・欧州でもネットワークは拡大を続けており、アジアのシンジケートローン市場では邦銀No.1を獲得。日系企業へのサポートのみならず、各地域の非日系企業との取引も行い、グローバルなサービスを展開

### 日本

本邦上場企業に占めるお取引先数

約 **7** 割

シンジケートローン（日本）組成金額632億ドル

※ ブックランナベース（2024年1月～2024年12月）  
（出典）LSEGを基に、みずほ銀行にて作成

**1** 位  
17年連続

DCM（日本）債券引受金額5.9兆円

※ 円ベース発行債券（2024年1月～2024年12月）  
（出典）LSEGを基に、みずほ銀行にて作成

**1** 位

M&Aリーグテーブル（日本）件数 161件

※ 2025年1月～2025年12月  
（出典）LSEGを基に、みずほ銀行にて作成

**2** 位

### グローバル

Forbes Global 200カバレッジ（非日系先）

※ Forbes Global 2000のうち上位200社（除く金融機関）

約 **9** 割

グループの海外拠点ネットワーク

約 **40** の国と地域に **109** 拠点

シンジケートローン(グローバル)

組成金額1,994億ドル

※ ブックランナベース（2024年1月～2024年12月）  
（出典）LSEGを基に、みずほ銀行にて作成

**5** 位

DCM(グローバル)投資適格社債

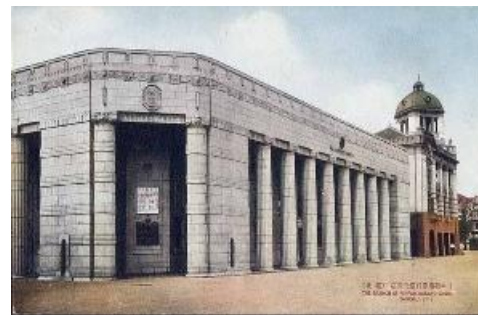
引受金額1,073億ドル

※ ブックランナベース（2024年1月～2024年12月）  
（出典）LSEGを基に、みずほ銀行にて作成

**12** 位

# 台湾における〈みずほ〉～台湾最長の歴史を持つ外銀

1923年	日本勸業銀行が台湾にて事業開始し、5支店(台北・新竹・台中・台南・高雄)を開設 <ul style="list-style-type: none"><li>- 烏山頭ダムの建設融資など拓殖金融を中心に台湾の産業育成開発の一翼を担う</li><li>- 1946年に全ての資産を台湾土地銀行へ移管</li></ul>
1959年	日本勸業銀行台北支店開設 <b>台湾第一号の外国銀行、かつみずほ銀行にとっても海外初の出店</b> <ul style="list-style-type: none"><li>- 台湾銀行に次ぐ外国為替公認銀行として、ユーザンス制度の導入など台湾の輸入貿易に貢献</li></ul>
1971年	日本勸業銀行と第一銀行が合併
1992年	第一勸業銀行高雄支店開設
2002年	第一勸業銀行・富士銀行・日本興業銀行が合併し、みずほ銀行に
2008年	みずほ銀行台中支店開設
2019年	台北支店開設60周年
2023年	台湾での業務開始から100周年



旧日本勸業銀行台北支店(現台湾博物館土銀展示館)  
台北市政府指定文化財



1960年 日本勸業銀行台北支店開設一周年記念パーティー



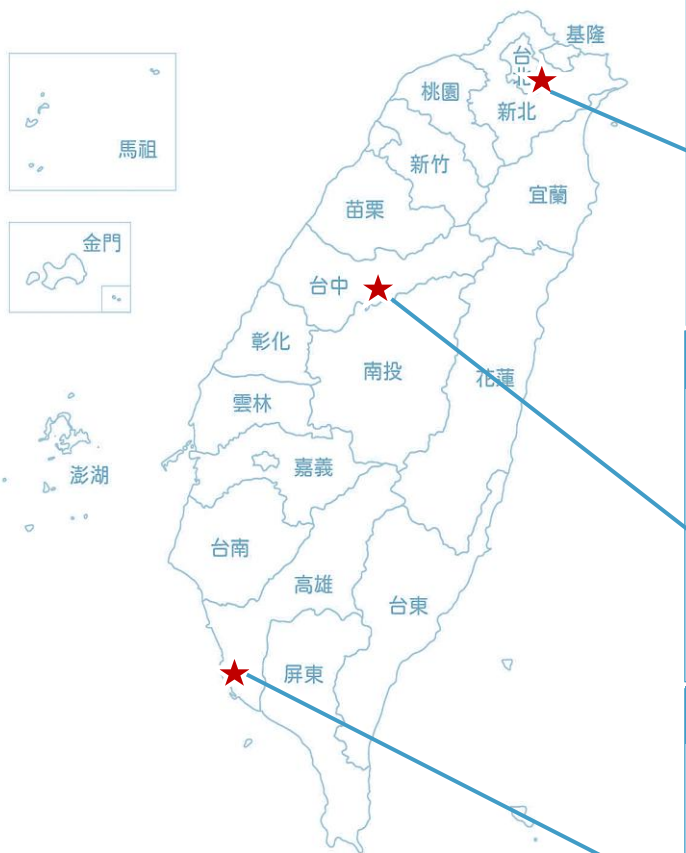
百穂輝煌 永續台灣

MIZUHO台湾100周年ロゴ

2024年 101周年記念101点灯式

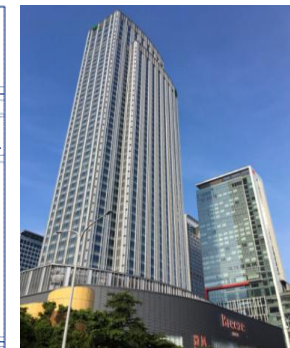
# 邦銀で唯一台湾内に3拠点を展開、台湾全土をカバー

- 3拠点、総勢約300名のスタッフで、貴社ニーズに対応



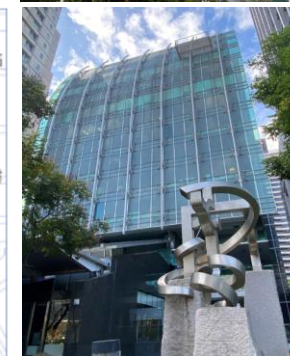
## 台北支店

台北市忠孝東路五段68号 7階～9階  
 TEL : (02) 8726-3000  
 台北市、新北市、基隆市、桃園市  
 新竹市、新竹県、宜蘭県、花蓮県



## 台中支店

台中市府会園道169号 8階  
 TEL : (04) 2374-6300  
 台中市、彰化県、雲林県、苗栗県、南投県



## 高雄支店

高雄市中正三路2号 12階  
 TEL : (07) 230-6800  
 高雄市、台南市、嘉義市、嘉義県、屏東県、  
 台東県



# 台湾における〈みずほ〉のプレゼンス①

## 台湾随一の外銀として豊富な顧客基盤を有す

- みずほは台湾随一の外銀として、日系企業約1,250社、台湾系企業約1,500社と豊富な顧客ネットワークを有す

台湾への進出企業数約 **1,600**<sup>※1</sup>のうち、  
約 **1,250**<sup>※2</sup>社をカバー

台湾企業約 **1,500**<sup>※2</sup>社  
台湾上場企業のうち **7**<sup>※3</sup>割以上をカバー



台湾外国銀行シンジケートローン組成金額**1**位

※4



サステナファイナンス累計実績 TWD**1,200**億

※5

- ※1：外務省公表データ、拠点数ベース
- ※2：アカウント数(取引実態あり)ベース
- ※3：時価総額ベース
- ※4：ブックランナーベース(2025 1-3Q)
- ※5：FY19-FY24 累計実績

### Assets<sup>※4</sup>

Unit:TWD/M

	Institutions	Assets	%
1	Mizuho Bank Ltd.	655,671	17.3%
2	Sumitomo Mitsui Banking Corp.	474,317	12.5%
3	MUFG Bank,Ltd.	346,842	9.1%
4	ING BANK, N. V.	269,775	7.1%
5	Deutsche Bank AG	222,019	5.9%
6	BNP Paribas	219,506	5.8%
7	DBS Bank Ltd.	197,940	5.2%
8	Credit Agricole Corp and Investment Bank	188,686	5.0%
9	UBS AG	172,068	4.5%
10	Oversea-Chinese Banking Corporation	157,455	4.2%
-	Others	886,906	23.4%
Total		3,791,185	100.0%

### Loans<sup>※4</sup>

Unit:TWD/M

	Institutions	Loans	%
1	Mizuho Bank Ltd.	268,623	21.1%
2	DBS Bank Ltd.	130,263	10.2%
3	MUFG Bank,Ltd.	117,056	9.2%
4	Oversea-Chinese Banking Corp Ltd.	80,905	6.4%
5	Sumitomo Mitsui Banking Corp.	78,881	6.2%
6	UBS AG	74,735	5.9%
7	Credit Agricole Corp and Investment Bank	72,225	5.7%
8	BNP Paribas	65,177	5.1%
9	The Hongkong and Shanghai Banking	46,556	3.7%
10	Citibank N. A.	42,354	3.3%
-	Others	295,126	23.2%
Total		1,271,901	100.0%

※4：外国銀行登録先ランキング、The end of Sep. 2025

# 台湾における〈みずほ〉のプレゼンス②

## シンジケートローン・トランザクションバンキングでも存在感

### 案件組成実績（台湾）

- 台湾において、**外資系銀行の中でシンジケートローンの組成金額1位**(※)を獲得

※ブックランナーベース(2025 1-3Q)、(出典) LSEGを基に、みずほ銀行にて作成。

### シンジケートローン主要案件

Transaction Date	Loan Size	Mizuho's Status
2025.11	USD 221,000,000	Sole MLAB
2025.11	TWD 7,950,000,000	Joint MLAB
2025.06	TWD 6,820,000,000	Joint MLAB
2025.03	TWD 8,125,000,000	Joint MLAB
2025.03	USD 90,000,000	Sole MLAB
2025.03	TWD 6,500,000,000	Joint MLAB
2025.03	TWD 2,000,000,000	Joint MLAB
2025.02	JPY 35,000,000,000	Sole MLAB
2024.12	JPY 14,250,000,000	Sole MLAB
2024.11	TWD 6,230,000,000	Sole MLAB
2024.11	TWD 44,300,000,000	Joint MLAB

### 主要受賞歴（アジア太平洋地域）

- 〈みずほ〉の総合的できめ細やかなソリューション提供力が市場で評価され、特にアジア太平洋地域において以下の賞をいただいています。

#### THE ASIAN BANKER, Transaction Banking Awards



- Best Asian Global Payments Bank in Asia Pacific (2025)



- Best Corporate Trade Finance Deal in Asia Pacific (2025)
- Best Asian International Transaction Bank in Asia Pacific (2019-2022, 2024)

#### ASIAN DEVELOPMENT BANK, Trade & Supply Chain Awards



- Trade Deal of the Year (2025)

#### EUROMONEY Cash Management Survey (non-FI)



- Best Bank for Cash Management Products in Japan (2024-2025)
- Best Cash Management Bank for Client Service in Japan (2024-2025)
- Best Cash Management Bank in Japan (2016-2024)

# 台湾企業、日本企業のビジネス拡大に向けた弊行サービス体制とネットワーク

## 金融サービス：台湾企業、日本企業のグローバル展開に対応するラインナップ

カテゴリ	ニーズ別ソリューション
海外進出	現地法人設立・ビジネスサポート ex) 海外送金、口座開設、ボンド発行
資金管理 貿易金融	為替リスクマネジメント：為替管理の高度化 ex) 為替予約、NDF、通貨オプション、通貨スワップ キャッシュ・マネジメント：グローバル企業の資金管理サポート ex) Mizuho Global e-Banking トレードファイナンス：貿易に必要な資金調達、リスクヘッジ、財務バランス改善 ex) インボイスディスカウントファイナンス、L/Cコンファーム、L/Cフォワーディング
資金調達	手法別 ex) 現地融資、コミットメントライン、シンジケートローン 目的別 ex) プロジェクトファイナンス、M&Aファイナンス、etc
ESG	ESGへの取り組み支援 ex) サステナビリティ・リンク・ローン、グリーンローン

## 非金融サービス：グローバルネットワークを活用した情報提供

産業調査 情報発信	経済・産業調査レポートの提供  台湾内情報の発信・日本市場の情報発信 <ul style="list-style-type: none"> <li>セミナー・イベント開催</li> <li>政府・シンクタンク等の連携による企業への情報発信</li> </ul>
ソリューション	日本企業の台湾進出・台湾内企業・台湾企業の海外進出 <ul style="list-style-type: none"> <li>取引先紹介・ビジネスアライアンス</li> <li>海外進出</li> <li>M&amp;A</li> <li>アンケート調査</li> </ul>
台湾スタートアップ	台湾スタートアップ育成 <ul style="list-style-type: none"> <li>日本企業とのビジネスマッチング・出資先紹介</li> <li>海外進出サポート</li> </ul>

## グローバル台湾デスク(GTD)の設置



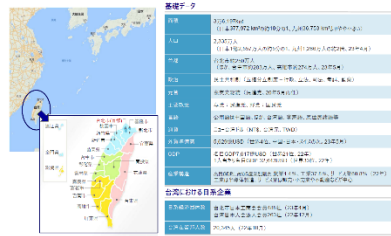
- 台湾企業の海外進出をサポートすべく、経済動向や顧客動向に合わせたグローバル台湾デスク (GTD)を開設し、専任の台湾人を配置
- 現在、中国、シンガポール、米国ロサンゼルスにGTDを設置し、米国、アジア・オセアニア地域をカバー
- GTDは、台湾人の視点に立って、現地のみずほの様々なサービスを中国語や英語で提供

# 産業調査・情報提供

みずほが持つ情報力を活用し、鮮度の高い情報を発信。

台湾を知る、アジアが見えてくる  
～台湾の概況～

概要：九州と同面積に2倍の人口、世界21位のGDP、4位の外貨準備高

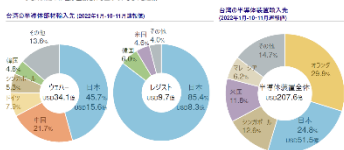


台湾の主要経済指標の動向

台湾半導体業界

半導体を取り巻く対日貿易関係 - 部材や装置の輸入先として日本は大きな存在

- 半導体製造に不可欠な部材や装置の輸入先として日本は大きな存在
- 台湾の半導体産業は、日本の半導体産業と密接な関係がある
- 台湾の半導体産業は、日本の半導体産業と密接な関係がある



## 2025年度

分類	セクター	タイトル
時事トピック		米相互関税に対する台湾政府の対応
		台湾での罷免投票
		台湾を取り巻く最近の情勢
経済・産業	AI・EMS	台湾のAIサーバー動向 台湾EMS業界
	半導体	台湾半導体業界の動向 台湾の主要半導体メーカーの業況 TSMC Fab 一覧 台湾の主要パネルメーカーの業況
	エネルギー	台湾の電力市場の概要 台湾の再生可能エネルギーについて 台湾の原子力発電 台湾のネットゼロについて 台湾の炭素費と炭素クレジット取引
化学	台湾の石化市場	
小売・食品	台湾の小売産業 台湾の食品産業 台湾の外食産業	
不動産	台湾の不動産市場	
ヘルスケア	台湾のヘルスケア市場	
スタートアップ	台湾スタートアップビジネスの概観	
その他	在台日系企業における求人・給料に関するアンケート調査	
経済統計速報		台湾を知る、アジアが見えてくる ～台湾の概況～ 台湾の主要経済指標の動向

# ソリューション

お客様のビジネス拡大に向けて、みずほの持つ広大な顧客基盤・ネットワーク・ノウハウを活用し、最適なアドバイスを提供。

## 1 ビジネスマッチング

日系企業、台湾企業だけでなく、グローバルに商談機会をアレンジ。

- 日本企業の台湾進出/台湾企業の日本・海外進出/新規事業への参入、等
- お客様の事業戦略を踏まえ、最適な提携候補先を提案
- 提携候補先との引き合わせやコミュニケーションサポートも実施

## 2 M&A

対外ネットワークも活用した情報提供に強み。

現地ならではのM&A利害関係者とのコミュニケーションで成功に導く。

- 台湾域内の金融機関、ブティック、ファンドとのネットワークを活用し、台湾内のM&A情報を収集
- 台湾域外のM&A情報もみずほネットワークを活用し情報提供

## 3 新規進出支援（対台湾内外）

みずほの各拠点・専門家と連携しながら、新規進出に必要な情報提供・必要な手続きをサポート

- 日本から台湾に進出する場合、国際戦略情報部が日本側、BSDが台湾側で進出支援

## 4 政府連携

MOU締結先を中心に政府関連組織とも連携したソリューションを提供

- 経済部管轄組織であるInvesTaiwan等の紹介および連携により、台湾での新規・追加投資にかかるソリューションを幅広く提供

# ソリューション – シチュエーション毎の具体的事例 –

- 台湾企業の海外ビジネス、日本企業の台湾ビジネスにおいて、あらゆるサービス提供

種別	案件概要
台湾投資促進 サポート (誘致、イベント、調査)	1 InvesTaiwanと台日投資カンファレンスを開催。Delta、ASE等を講師として招聘し、日本企業への台湾投資を呼び掛け
	2 日本企業の新規投資にかかわるサポート
	3 日本企業の台湾における店舗拡大のサポート
	4 南部サイエンスパークと新規工業園区の紹介をテーマとした説明会の開催
	5 台日商務交流協進会の委託を受け、日本企業の越境EC及び台湾市場へのニーズに関するアンケート調査を実施。日本企業の台湾向け貿易拡大及び台湾現地企業との提携を促進
台日連携 サポート (主に商業斡旋)	6 台湾企業の日本ロボットメーカー製品のODM、OEMニーズの紹介サポート
	7 台湾企業の日本パワー半導体製品の受託製造ニーズの紹介サポート
	8 日本物流企業と台湾ECプラットフォーム企業の引き合わせサポート
日本・第三国 進出サポート (業界調査、投資、M&A)	9 台湾企業の中南米投資・生産地移転検討に対する現地規制・産業動向情報提供・プレイヤー調査
	10 台湾企業の東南アジア向け投資ニーズに対し、ベトナムM&A売り案件を紹介、買収検討サポート
	11 台湾企業の日本ホテル投資ニーズに対する業界調査、買収候補先選定サポート
	12 台湾CVCのインド投資ニーズに対する、現地スタートアップ情報の提供
	13 台湾食品流通メーカーの海外投資ニーズに対し、M&A売り案件の紹介、対日投資時の資金調達手法のアドバイス提供

# 台湾スタートアップ

官民アクセラレータやベンチャー  
キャピタルと連携し、台湾のイ  
ノベーション企業を世界へ



【InnoVEXにおける講演の様子】

## M's SALON

<みずほ>独自のスタートアップ成長支援プログラム



## 1 日台スタートアップ連携による事業シナジー創出支援

みずほネットワークの他、VCファンド・アクセラレーターとの連携でビジネス機会を創出  
お客様の事業シナジーが見込める先、新規事業開拓等、ニーズに合わせて事業パートナーを選出し紹介

## 2 台湾スタートアップの成長サポート

台湾スタートアップの海外進出を、みずほのグループ力でサポート

日本市場の開拓に注目するスタートアップが増加しており、日本への進出からIPOまで、グローバルフィナンシャルグループとして総合的なサポートを提供可能

台湾	日本		
台北支店	イノベーション 企業支援部	コーポレート アドバイザー部	国際戦略情報部
台湾相談窓口 台湾サイド支援	スタートアップ支援全般 (M's Salon運営)	M&Aアドバイザー	日本進出支援等

## 3 アクセラレータ等と連携し、各種イベントでの講演・ネットワーキング

みずほのスタートアップビジネスの取組みを広め、日台連携を促進

Starfab、Startup Island Taiwan等国家級スタートアップ支援機関と連携し、台湾最大のスタートアップイベント「InnoVEX」や日本で開催される「台日スタートアップサミット」に登壇し、日台イノベーションのかけ橋として存在感を発揮



# 日台連携サポートの強化に係わるMOUを多数締結

日台連携の強化に係る  
様々なMOUを締結し、  
お客さまのビジネスをサポート



時期	MOU締結先	締結目的
2018.11	<b>三三企業交流会 (三三会)</b> 三三会は、1999年に官民の積極的な協力により、台湾経済の改善を図ることを目的として設立された台湾最大手の経済団体。会員企業と海外企業との交流を通じ、会員企業の事業拡大や海外市場への進出を支援。	<b>日台企業提携支援</b>
2019.05	<b>外貿協会 (TAITRA)</b> TAITRAは、1970年に台湾の対外貿易促進を目的に、台湾政府と業界団体の支援により設立された非営利公的貿易振興機構。台湾企業の国際競争力強化と世界市場への進出支援や外国企業の台湾進出をサポート。	<b>日台企業のASEANでの提携支援</b>
2020.05	<b>南部科学園区、Starfab</b> 南部科学園区は、1996年にハイテク産業の投資誘致・産業育成を目的として設立。3大科学園区の一つ。Starfabは、2016年に設立された工業技術研究院 (ITRI) より発足した、台湾のAI、IoT、ビッグデータ、サイバーセキュリティなどの次世代産業分野のスタートアップを支援するアクセラレーター。	<b>台湾スタートアップと日本企業の提携支援</b>
2020.11	<b>經濟部投資台湾事務所 (InvesTaiwan)</b> InvesTaiwanは、外資企業の対台湾投資支援を主な役割とする組織であり、税制や法制度・人材に係わる情報提供、工業団地入居・各種申請支援等により、外資企業の台湾投資をサポート。	<b>日本企業による台湾半導体投資支援</b>
2022.03	<b>中華經濟研究院 (CIER)</b> 中華經濟研究院は、1981年に設立された經濟部所管のシンクタンクで、分野特化型の研究により、台湾の経済産業発展に向けた政策提言を行っている。	<b>日台交流深化に向けた情報提供の推進</b>
2024.03	<b>工業技術研究院 (ITRI)</b> ITRIは、1973年に經濟部 (経済産業省に相当) 管轄の研究機関が合併して設立された組織。これまでにファウンドリー世界最大手のTSMCや同大手のUMC等を含む約270社を輩出し、台湾の半導体産業発展の基礎を築いた研究機関。	<b>日台産業間の情報発信・技術交流・国際進出支援の更なる推進</b>
2026.05	<b>国立中山大学国際金融研究学院 (SBF)</b> 国立中山大学国際金融研究学院は、教育部 (文部科学省に相当) が産学官連携や産業人材育成を目的として制定した条例に基づき、2022年に設立。国際金融分野の人材育成に注力し、台湾内の金融関連企業23社と連携。	<b>日台金融人材育成・企業間交流・産学官連携支援の推進</b>

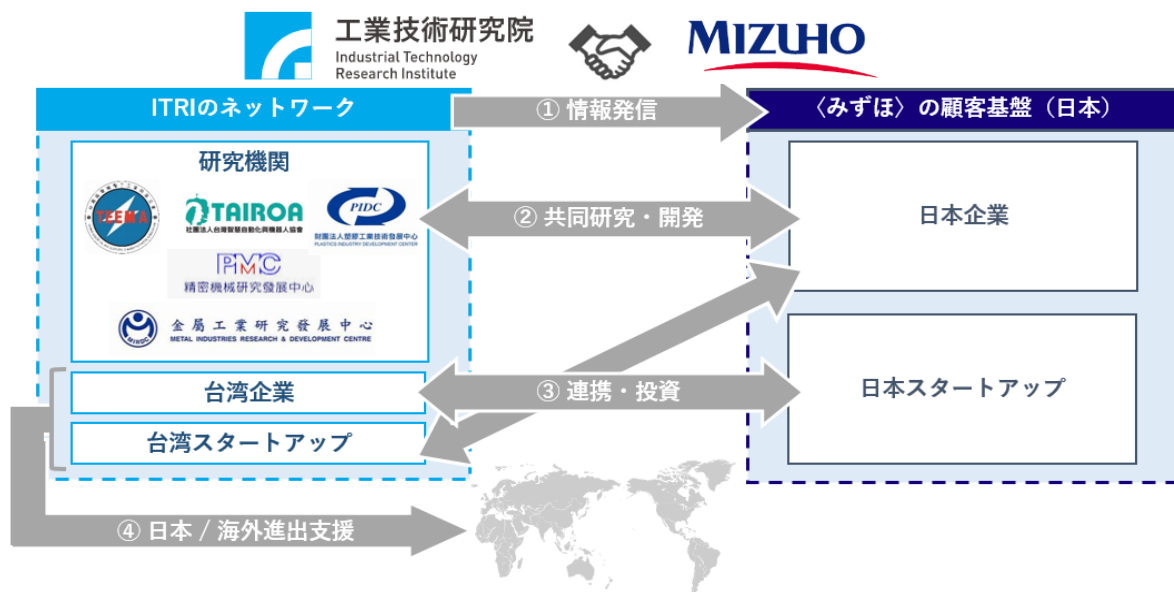
# 工業技術研究院（ITRI）と日台の産業連携の更なる推進を目的にMOU締結

- 2024年3月、近年の半導体の先進技術開発の高度化や、日台スタートアップの存在感の向上等を背景に、より緊密な企業間連携の推進や日台連携ニーズへ対応していくため、ITRIと日台の産業連携の更なる推進を目的としたMOUを締結

## みずほ、工研院と日台の産業連携推進で覚書（2024/3/27 NNA）

- みずほ銀行と台湾政府系研究機関の工業技術研究院（ITRI、工研院）は22日、日本と台湾間の産業連携推進のさらなる強化を目的とした業務提携に関する覚書を締結した。スタートアップ企業に関する情報共有などを通じて**日系企業の事業拡大や台湾企業のグローバル化への貢献を目指す**。
- 今後「技術、産業動向、スタートアップに関する情報共有や発信」、「工研院やそのネットワークを活用した台湾域内研究機関と日本企業との連携支援」、「日台企業のビジネス機会創出に向けた支援」、「台湾企業の日本および海外進出の支援」などの取り組みで連携を深めていく。
- みずほ銀行と工研院は2010年12月に業務協力協定を締結**し、日本と台湾の企業間の技術交流や研究開発（R&D）に関する包括的なサポートなどを行ってきた。半導体を含む先進技術領域での日台連携ニーズなどに対応するため、数年前から双方で議論を重ね、**日台企業の企業間交流の推進においてより一層連携を深めていくことに合意**し、新たな覚書締結に至ったとみずほ銀行は説明した。

## MOUの連携内容



## MOU調印式の模様



## (ご参考) 経済部との共催による台日投資カンファレンスの開催

- 2020年より毎年、日系サプライヤーによる台湾投資促進を図るべく、経済部主催・みずほ銀行共催により「台日投資カンファレンス」を実施
- 第6回目となる2025年は、台湾電源ユニット大手・台達電子工業（Delta）および日月光半導体製造（ASE）による講演等を通じ、日台企業間のコミュニケーションの強化や日台間の投資促進を図った

### 第6回目カンファレンス(2025/12/2)の様様



### カンファレンスに係る報道(2025/12/3 経済部プレスリリースより抜粋)

AIが牽引する投資の新潮流「2025台日投資協力フォーラム」—スマートテクノロジーの新たなビジネスチャンスを共同で探る

経済部と日本みずほ銀行が共催する「2025年台日投資協力フォーラム」が、12月2日に台北で盛大に開催されました。

～中略～

本フォーラムは経済部の龔明鑫部長とみずほフィナンシャルグループの材木孝一常務執行役員の開会挨拶で始まりました。日本台湾交流協会の川合現副代表、中華民国東亜経済協会の黄教漳理事長なども招待され、約300名の台日ハイレベルマネージャーが現地とオンラインで参加し、活発な交流が繰り広げられました。これにより、台日がAI時代に手を携えて進む意欲と信頼が強く示されました。

～中略～

経済部投資司は、2020年以降、経済部が日本三大金融グループの一つであるみずほ銀行と共に台日半導体産業の投資協力を推進してきたことを明らかにしました。みずほ銀行の日本企業ネットワークと、投資台湾事務所のカスタマイズされたサービスを組み合わせることで、日本企業の台湾投資をより円滑に支援しています。台日投資協力フォーラムは今年で6回目を迎え、多くの日本企業から高い評価を受けており、台日二国間の投資交流の重要なプラットフォームとなっています。

# サステナビリティへの取り組み / 多数の受賞歴

- 財団法人台湾永續能源研究基金会(TAISE)は、台湾の低炭素経済への転換を推進するNGOとして発足。気候変動等の社会課題解決に向け、企業、大学、病院等を対象とした教育カリキュラムや、取り組みを評価するアワードを運営
- <みずほ>は、ファイナンス等を通じたサステナブルな社会の実現に向けた取り組みが評価され、これまでに複数のアワードを受賞

## 「Taiwan SIA台湾永續投資獎」 企業議合部門で外銀として唯一の受賞



【授賞式(2022/07/08)の様様】

- 台湾プラスチックグループ中核3社へのサステナビリティ・リンク・ローン(SLL)等、ファイナンスを通じた企業のサステナビリティへの取り組みを支援
- 当行の個別案件を通じた「企業との対話(Corporate Engagement)」による影響力が評価されて受賞

## 「亞太永續行動獎」 日系企業として唯一の受賞



【授賞式(2023/7/21)の様様】

- APAC地域でのサステナビリティの実現に向けた取り組みを評価するアワード
- ファイナンスを通じた当行の取り組みが、SDGs目標の一つである「優質就業與經濟成長(Decent Work and Economic Growth)」の実現に大きく貢献するもの評価され受賞

## 「台湾企業永續獎」4年連続の授賞 十大永續典範外商で受賞



【授賞式(2025/11/21)の様様】

- 低炭素金融と革新的な投資をグループのサステナビリティ戦略に組み込み、気候変動関連投資と脱炭素金融リソリューションを継続的に増やす一方、自社の事業活動における温室効果ガスの削減も絶えず強化。
- 2024年の統計では、スコープ1およびスコープ2の排出量が2020年比で6割以上削減され、100社のお客様にもスコープ3の削減活動に参加。より多くの企業がネットゼロへの目標達成支援に大きく貢献するもの評価され受賞

# 台湾へのコミットメント / 愛心基金会の活動

- 台湾拠点が運営する愛心基金会は、台湾進出30周年の1989年に設立され、これまで奨学金や災害時寄付などの寄付活動を継続している

## 災害支援でみずほ銀基金会などを表彰、卓首相(NNA : 2026/1/30)

台湾行政院（内閣）の卓榮泰首相は26日、花蓮市光復郷の災害救援活動のほか、台湾における慈善事業に長年貢献してきたみずほ銀行傘下の愛心基金会を含む5つの非営利法人に対する表彰式を行い、謝意を示した。

5つの非営利法人は愛心基金会のほか、崇友文教基金会、国泰人寿慈善基金会、中華電信基金会、鴻海教育基金会。各基金がボランティアに参加した大学や専門学校に資源の提供や経験の共有を行ったことに感謝の意を示した。

みずほ銀行台北・台中・高雄支店長で、愛心基金会の董事長を務める大西武仁氏は式典で愛心基金会について、1989年にみずほ銀行の台湾進出30周年を記念して設立し、台湾の困難な状況にある大学生への支援を主な目的として取り組みを行っていることを説明。今後も同基金会を通じた活動を継続するとともに、台湾教育部（教育省）が進める金融人材の国際化といった取り組みにも貢献していきたいと意気込みを示した。



(行政院リリースより)



## 愛心基金会概要

名前	財団法人瑞穂銀行慈善事業愛心基金会
設立	1989年9月
基金総額	NT\$ 30,000,000 元
寄付総額	NT\$ 23,994,870 元(2025年まで)
董事長	大西武仁
これまでの寄付内容	<ul style="list-style-type: none"><li>教育部奨学金</li><li>災害時寄付金</li><li>救急車、献血車、行政支援車、園児送迎者などの、医療関係、学校、行政関係者への寄付 など</li></ul>

# 国立中山大学国際金融研究学院と台湾の国際金融人材育成を目的にMOU締結

- 2026年5月、「台湾金融セクターの強化および国際的な金融人材の育成」を目的とした協力的なパートナーシップ構築のため、国立中山大学国際金融研究学院とMOUを締結
- <みずほ>が進める社会貢献活動の一環として、台湾の国家戦略として進める「金融人材の国際化」に、グローバルバンクとして貢献

## みずほ銀、中山大学と人材育成などで協力(NNA：2026/5/27)

みずほ銀行は22日、台湾の国立中山大学との間で人材育成などに関する協力覚書を交わした。中山大学によると、**みずほ銀は同大学がパートナーシップを締結する初の外資銀**となる。みずほ銀からは中山大学国際金融研究学院に寄付講座を設置するほか、みずほ銀の日本本社で同大から研修生を受け入れる。研修生の受け入れは今年7月を想定している。

中山大学の李志鵬校長は、「教職員と学生に対し多様で国際的な機会を提供できる」と感謝の意を表した。みずほ銀台北・台中・高雄支店長の大西武仁氏は、**同行が蓄積してきた金融・産業の知見やグローバルネットワークを存分に活用してもらい、卒業生がみずほ銀とともに台湾の発展に協力し合う未来を期待している**と述べた。

## MOU調印式の模様



# 免責事項

---

© 2026 株式会社みずほ銀行

1. 法律上、会計上の助言

本資料記載の情報は、法律上、会計上、税務上の助言を含むものではありません。  
法律上、会計上、税務上の助言を必要とされる場合は、それぞれの専門家にご相談ください。

2. 秘密保持

本資料記載の情報の貴社への開示は貴社の守秘義務を前提とするものです。  
当該情報については貴社内部の利用に限定され、その内容の第三者への開示は禁止されています。

3. 著作権

本資料記載の情報の著作権は当社に帰属します。  
いかなる目的であれ本資料の一部または全部について無断で、  
いかなる方法においても複製、複製、引用、転載、翻訳、貸与等を行うことを禁止します。

4. 免責

本資料記載の情報は、当社が信頼できると考える各方面から取得しておりますが、その内容の正確性、信頼性、完全性を保証するものではありません。実際の取引の実行につきましては、自社自身のご判断で決定してください。  
当社は当該情報に起因して発生した損害については、その内容如何に拘わらず一切責任を負いません。